

臨床福祉専門学校
理学療法学科（夜間部）平成 28 年度 第一回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成 28 年 11 月 22 日（火） 18：35～19：30

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

- 中村 岳雪（東京都理学療法士協会 理事）
- 下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）
- 水落 太郎（松井病院 リハビリテーション科主任）
- 石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科統括学科長）
- 吉葉 則和（臨床福祉専門学校 理学療法学科学科長）
- 樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務課 主任）

1. 平成 27 年度本委員会での振り返り

石垣：年々問題となる「基礎学力の補填」、並びに「資格取得の為の総合的な学力の引き上げ」について、昨年度より、本委員会で意見を頂いていた。

上記 2 点を網羅した、新たな理学療法学科としてのカリキュラムを平成 29 年度より施行する事となった。変更点は下記の通り

- ・専門分野（基礎理学療法学）の枠に「基礎理学療法学Ⅱ」を導入
→主に中学レベルの物理、文章の作成方法を学ぶ現代文等基礎学力の向上を視野に入れた中身に加え接遇等の理学療法士に必要な知識を学習する。
- ・最終学年に特化していた、専門分野学（理学療法演習）を下位の学年より導入
→主に解剖・生理を中心とした基礎医学の知識を早い段階から習得し、臨床実習に対応できる能力を身に付ける事が目的。その他、学生にオリジナルノートをグループワーク形式で作成させる等、演習授業も設ける。

※上記 2 点の趣旨説明を行い、シラバス等を参照して、実施するにあたっての補足等があるか指摘を頂き、運営に活かす形式をとった。

2. 意見交換

(水落) 卒業論文が廃止になった事により、レポートを作成する必要はなくなったが、何かしらの形で、学生に長期実習についての報告する為の形式を継続するべきではないか？

→ 学科でも留意すべき内容、長期の実習報告会で作成する内容をその代替とする予定。

(中村) 基礎理学療法学Ⅱで実施される。物理・科学について、中学、高校でも履修していなかった学生が多いと思うが、そういった実情を意識しないと、逆に学力に対して不安を抱く事になりかねない。

→ 初めて物理・科学の勉強をするという観点で、それを理解してくれる専門家を講師担当として手配をする事を留意事項とする。

(下河辺) 総合的な学力向上の為の演習授業を最終学年だけでなく、下位の学年から行う事は、賛同できるが、夜間部でいうと2年次から行わなければならない事情があるのか

→ 基礎学力もそうだが、資格取得の為の演習授業は1年でも早く取り組む必要があるくらい、学力低下が顕著である。

(水落) 今回のカリキュラムには網羅されていないが、いずれは理学療法士としての職種に関わりのある、「薬理」「救急救命」等も視野にいれるべき

→ 現在、理学療法士協会の中でも指定規則を変更するという動きがある。その過程の中で、網羅するかどうか、時間をかけて検討したい。

⇒上記の件について委員了承

(まとめ) 第二回委員会に向けて

- ・学生の実情に合った、基礎理学療法学の担当講師の選定
- ・将来、理学療法士の職種に関わりのある科目の導入について、引き続き検討